

仕 様 書

- 1 品 名 救助服
 ・救助服(上衣、下衣)

- 2 規 格 別紙仕様書のとおり

- 3 数 量 7着

- 4 納入期限 平成31年5月31日(金)

- 5 納入場所 熱海市消防本部が指定する場所

- 6 その他 購入するサイズについては、契約後に消防本部と調整すること。

エミュファイター®救助服仕様書
【CX-2940NEO-ATH (AN) 型】

熱海市消防本部

1. 型式

- (1) この救助服エミユファイター®救助服CX-2940NEO-ATH (AN型) は、上衣、ズボンともに特殊立体裁断を用いて縫製されたものであること。
- (2) 上衣
- ①前身頃・後身頃・脇身頃及び、前袖・後袖・下袖・袖山及びヨーク続きからなる長袖型。
 - ②前合わせ：黒革付きファスナー式（衿先まで）。
 - ③胸ポケット：黒革付きファスナー式切りポケット。
 - ④袖口：黒革付きファスナー式、水かき付、カフス仕立て。
 - ⑤肩章：肩章付き。
 - ⑥脇下ベンチレーション式。
- (3) ズボン
- ①前身頃・後身頃・脇身頃・内股部からなる長ズボン型。
 - ②脇ポケット：黒革付きファスナー式、マチ付きアウトポケット。
 - ③前あわせ：ファスナー式、前カン式。

2. 表生地（当本部指定）

項目	規格
種類	CX-2940-N エクスファイア® サージ X29458
色番	オレンジ（メタ型アラミドは原液着色）
混紡率	メタ型アラミド 93% パラ型アラミド 7%
組織	2/2 綾織
密度	縦 86本以上 横 73本以上 / 2.54cm間
引張強力	縦 1200N以上 横 1000N以上 (JIS L 1096A法)
引裂強力	縦 50N以上 横 45N以上 (JIS L 1096D法)
重量	210±15g/m ²
染色堅牢度	洗濯変退色 4級以上 (JIS L 0844A-2法) 汗変退色 4級以上 (JIS L 0848A法) 摩擦（乾） 4級以上 (JIS L 0849 II形法)
寸法変化率	縦横±2%以内 (JIS L 1042G法)
燃焼性	残炎時間 1.0秒以下 (JIS L 1091A-4法) 余じん時間 1.0秒以下 (JIS L 1091A-4法) 炭化距離 5.0cm以下 (JIS L 1091A-4法)
制電性	7μC以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)

3. 条件

- (1) 針数
針目数は飾りステッチ、刺し、共に3cm間に10針以上とする。
- (2) 縫製糸
メタ型芳香族ポリアミド40番オレンジとする。

(3) 裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミのないようにし、縫い始め・縫い終わりは返し針を完全に行うこと。

4. 縫製要領

1. 上衣

(1) 衿

ア 衿幅は、中央で約10cm・剣先で約9cmとし、衿裏には山刺しを施すこと。

イ 衿台として中央で幅約3.5cmの衿腰を切り替えしに付け、腰刺しは5本以上とする。

ウ 剣先部分まで、前身頃から続けてファスナーを縫い付ける。

(2) 身頃

ア 前中心は、黒革付きファスナーを衿先から前身頃にかけて挟み縫いする。下部には、冑止めを施す。

前身頃のファスナー開口部は、左右とも端に芯糸を入れる。

イ 肩章付とし、肩章は幅約5.5cm、長さ約14.5cm、衿側は山型とする。肩章付け根は二つ折りし、クロスステッチをかけ、身頃に縫付け、更に約3.5cm衿側へ寄った箇所にダブルステッチにて身頃に縫い止める。肩章先は釦止めとする。

ウ 縦約2.5・横約4cmの階級章取り付け用面ファスナー（オレンジ色）を右胸ポケット上部から約1cm上に縫い付ける。

エ 縦約2.5・横約4cmの名札取り付け用面ファスナー（オレンジ色）を左胸ポケット上部から約1cm上に縫い付ける。

オ 裾は、シャツ型とし、三つ折り縫いとする。

カ 前身頃刺子は、表生地を2枚重ねし、幅約1.5cmの刺し子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

キ 後身頃刺子は、衿付け後ろ中心から約27cm下りを標準(L寸)とし、表生地を2枚重ね、幅約1.5cmの刺し子を入れる（刺子箇所は概要図の通り）。

ク 脇身頃下側布と下袖布を縫い合わせ、脇部下部にベンチレーションを設ける。

ケ 左胸に「熱海消防」と濃紺色・角ゴシック体刺繍にて文字入れすること。

コ 後身二重地刺し部分に「静岡県 熱海市消防本部 SHIZUOKA-ATAMI F. D.」の表示を濃紺色・指定書体にて刺繍文字入れすること（当本部指定書体・位置）。

(3) 袖

ア 袖は、4枚のハギ及びヨークからの続き袖にて構成される構造とし、肩部分には、表生地を2枚重ね、幅約1.5cmの刺し子を入れる（刺子箇

所は概要図の通り)。

- イ 袖口は両玉縁、約17cmのファスナーで開閉するものとし、接着芯を貼ったカフス式(カフス幅約6cm)とする。
開き口にはカフス先端から開き止まりまで水かきを付け、ファスナーを表地と水かきに挟み縫いする。水かき端部は約0.5cmの三つ折り縫いとする。
- ウ 肘部分には、表生地を2枚重ねし、幅約1.5cmの刺子を入れた当て布を取り付ける。当て布には運動性を良くするためにダーツを設ける。
- エ 左袖に当市指定ワッペン用台座を取付すること。

(4) 胸ポケット

- ア 左右前身頃に切りポケットを各1箇所、二条縫いで縫い付ける。
- イ ポケット口は両玉縁、口幅約14cmとし、黒革付ファスナーを縫い付ける。
- ウ ファスナーは、閉じて脇側とする。
- エ 左ポケット内に、縦約4cm・横約5cmの2本入りペン差し用ループを縫い付ける。

(5) 片布

- ア 右胸ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示を縫い付ける。
- イ 衿部分にサイズ表示及び衿吊りを縫い付ける。

2. ズボン

(1) 身頃

- ア 前身頃3枚ハギ、後身頃2枚ハギ、脇身頃及び内股部各2枚ハギで構成された構造とする。前身頃・後身頃・脇身頃及び内股部の上部及び膝当て部は表生地を2枚重ねし、幅約1.5cmの刺子を入れる(刺子箇所は概要図の通り)。
- イ 脇・尻・内股縫いは、インターロック、片倒し縫いを施す。

(2) 脇ポケット

- ア 左右に各1個、アウトポケットを縫い付け、風巾部分は一枚裁ちとする。
- イ ポケット付け位置は中央部で上端から約29cm下がりを目印とする。
- ウ ポケット口は両玉縁とし、口幅約19cm、斜め式とする。
- エ 黒革付ファスナー開閉式とし、ファスナーは閉じて尻側とする。

(3) 前合せ

前合わせは、前カン及びファスナー式とし、ファスナー止まり下部には門止めを施す。

(4) ウエスト・ベルト通し

- ア 腰裏にすべり止めマーベルトを縫い付ける。
- イ ベルト通しは、横巾約9cmとする(48~50mm巾レンジャーベル

トの通る有効幅)。位置は、後中央に1本、左右に各2本の計5本とし、ウエスト上端から約1cm下げて縫い、下部は二重縫いで身頃に止め、両端に閉止めを施す。

(5) 裾口

裾口には絞り紐を入れ、踵止めゴム紐を縫い付ける。

(6) 片布

左脇ポケット裏側に氏名片布、品質表示、警告表示、サイズ表示を縫い付ける。

5. 寸法表

(1) 上衣

(単位：cm)

サイズ	着丈	胸囲	胴囲	裾丈
S	73	101	99	79
M	75	105	103	81
L	77	111	109	84
LL	80	117	115	86
3L	81	123	121	89
4L	84	129	127	91
5L	86	135	133	94

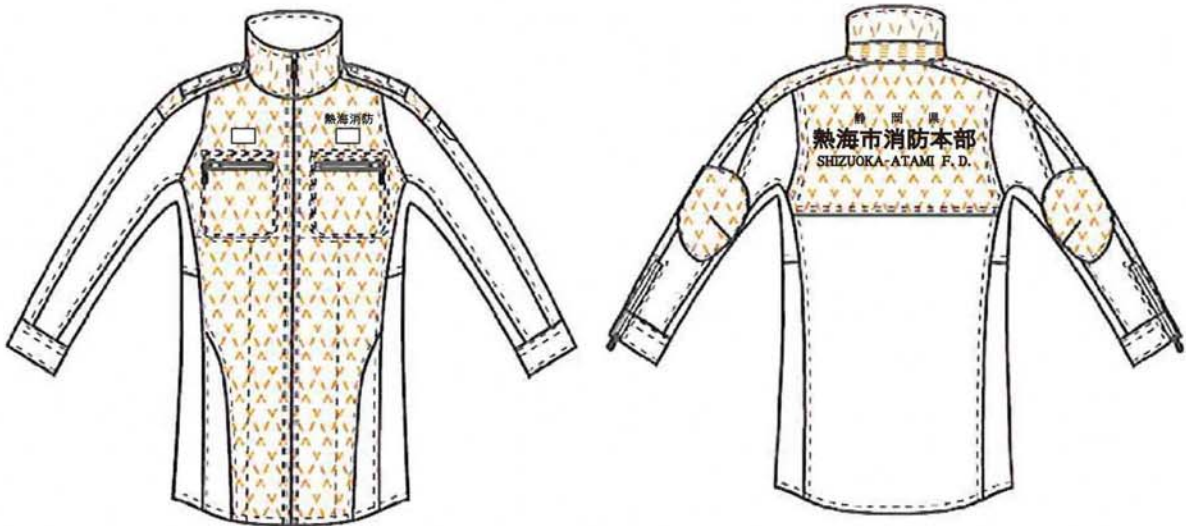
(2) ズボン

(単位：cm)

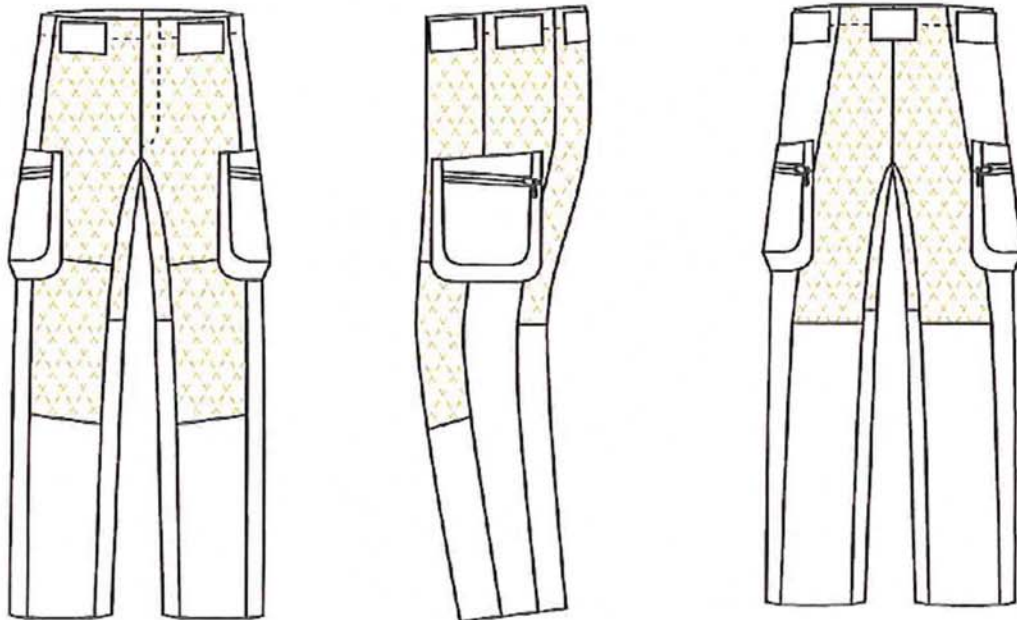
サイズ	ウエスト	ヒップ	渡り幅
S	75	100	33
M	79	104	34
L	83	108	36
LL	87	112	37
3L	91	116	38
4L	95	120	40
5L	99	124	41

6. 概要図

(上衣)



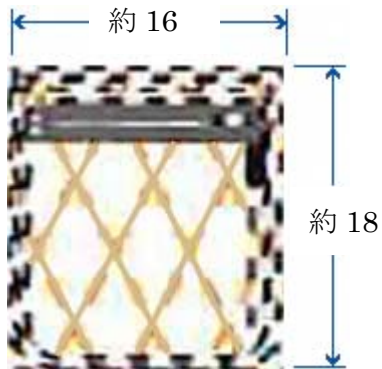
(ズボン)



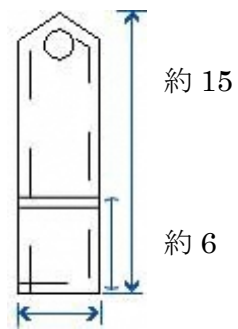
(単位 cm)

<上着>

胸ポケット



肩章



約 5.5

<ズボン>

脇ポケット

